

第6章 CO₂排出量将来推計

計画の策定にあたっては、現状の排出量を把握するとともに、今後の排出量を推計することが必要です。そのため、ここでは現状趨勢ケースのCO₂排出量の将来推計を行います。

6-1 現状^{すうせい}趨勢ケースのCO₂排出量将来推計の方針

(1) 現状趨勢ケースの定義

現状趨勢ケースは、今後追加的な対策を見込まないケースとします。エネルギー消費機器のストック効率が現状横ばいで、活動量のみが変化するものとします。

(2) 対象範囲

CO₂排出量の将来推計の対象範囲は、排出量の現況推計を行った部門を対象とします。

(3) 推計対象年

将来推計の推計対象年は、中期計画目標年の平成 35 年度(2023 年)を含めた平成 37 年度(2025 年)までとします。

(4) 将来推計の方法

排出量将来推計の基本的算定式は以下の通りです。

$$\text{排出量} = \text{活動量} \times \text{原単位} \times \text{炭素集約度}$$

① 活動量

当市の活動量は、すでに存在する推計値のあるものはこれを使用します(例：人口推計)。

推計値のないものについては、過去 10 年間の実績値を複数の単回帰分析を行い、相関係数の高いものを優先に諸条件を加味して関数式を決定し、平成 37 年度(2025 年)までの推計値を算定します。平成 20 年度から平成 23 年度の活動量は、平成 19 年度と平成 24 年度で内挿し補正します。

② 原単位

原単位は、現状値をそのまま適用します。原則的には、平成 17 年度(2005 年)から平成 19 年度(2007 年)の 3 年間の加重平均を原単位とします。

③ 炭素集約度

当市での将来エネルギー種別構成の大きな変化が予測されないため、炭素集約度は現状固定とします。

6-2 日進市CO₂排出量将来推計

(1) 日進市CO₂総排出量将来推計

本市のCO₂排出量の将来推計によると、現状のままで推移した場合、短期計画の目標年度である平成25年度のCO₂排出量は50万7千tCO₂、平成19年度比で8%の増加となります。また、中期計画の目標年度である平成35年度のCO₂排出量は56万6千tCO₂で、平成19年度比で21%の増加となります。

日進市・排出量 将来推計：千tCO ₂		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H35	H37
		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2015年	2023年	2024年
産業分野	排出量	90	92	92	91	90	89	89	89	91	91
	対H19比率	100%	103%	102%	101%	100%	99%	99%	99%	101%	101%
民生分野	排出量	265	276	281	286	291	296	302	313	359	374
	対H19比率	100%	104%	106%	108%	110%	112%	114%	118%	135%	141%
運輸分野	排出量	108	108	109	109	109	110	110	111	110	111
	対H19比率	100%	100%	101%	101%	101%	102%	102%	102%	101%	102%
廃棄物	排出量	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
	対H19比率	100%	99%	101%	104%	106%	107%	109%	113%	126%	130%
総排出量	排出量	469	482	487	492	496	501	507	519	566	583
	対H19比率	100%	103%	104%	105%	106%	107%	108%	111%	121%	124%

表 6-2-1 日進市CO₂総排出量将来推計

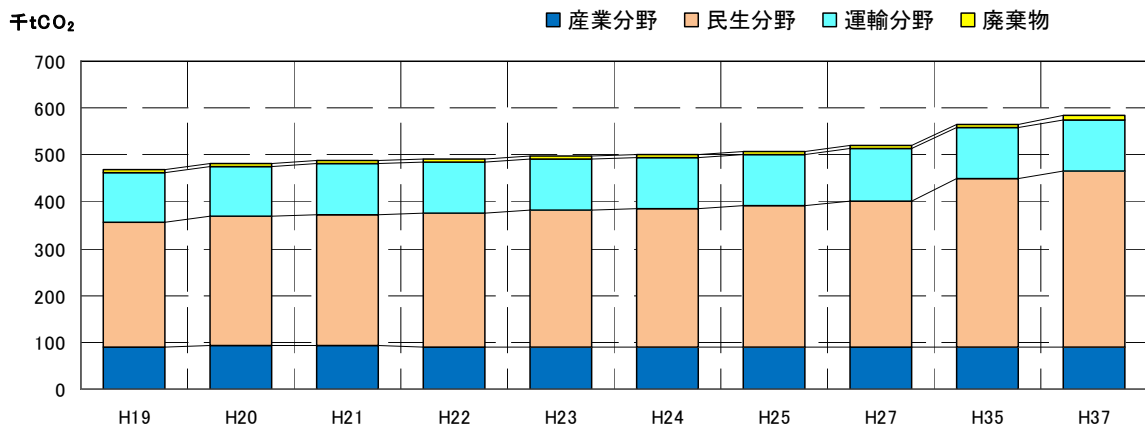


図 6-2-1 日進市CO₂総排出量将来推計

(2) 分野別CO₂排出量将来推計年度内比率

分野別に見た将来推計では、民生分野がとくに増加傾向にあり、平成35年度には民生分野が約63%を占めることとなります。

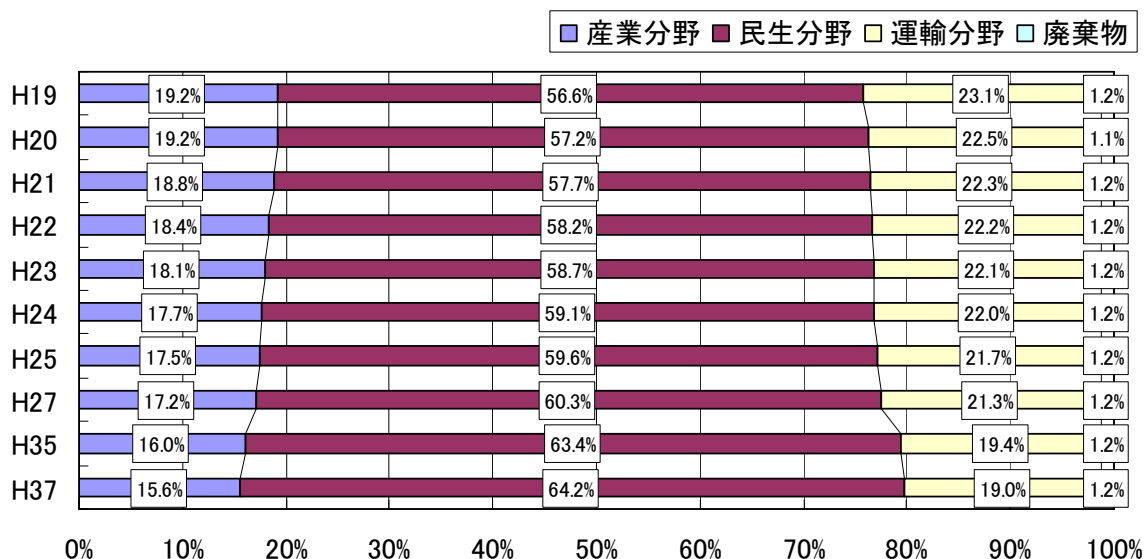


図 6-2-2 分野別CO₂排出量将来推計年度内比率

(3) 部門別CO₂排出量将来推計

部門別のCO₂排出量の増減率の将来推計では、家庭部門が最も大きな増加を示しています。平成35年度で基準年（平成19年度）より約1.5倍になると予測されます。また、業務部門も平成35年度には26%増加しています。他の部門は、ほぼ基準年の横ばいが推計されます。

日進市・排出量 将来推計：千tCO ₂	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H35	H37
	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2015年	2023年	2025年
製造業	72	74	73	72	71	70	70	70	71	72
建設・鉱業	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18
農林水産業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
産業分野計	90	92	92	91	90	89	89	89	91	91
家庭部門	109	113	116	120	123	126	129	136	161	169
業務部門	156	163	165	166	168	170	172	178	198	205
民生分野計	265	276	281	286	291	296	302	313	359	374
自動車部門	105	105	105	106	106	106	106	107	106	107
鉄道部門	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
運輸分野計	108	108	109	109	109	110	110	111	110	111
エネルギー起源計	463	476	481	486	490	495	500	513	559	576
廃棄物	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7
総排出量	469	482	487	492	496	501	507	519	566	583
対H19比率	100%	103%	104%	105%	106%	107%	108%	111%	121%	124%

表 6-2-2 部門別：CO₂排出量将来推計

CO₂排出量将来推計

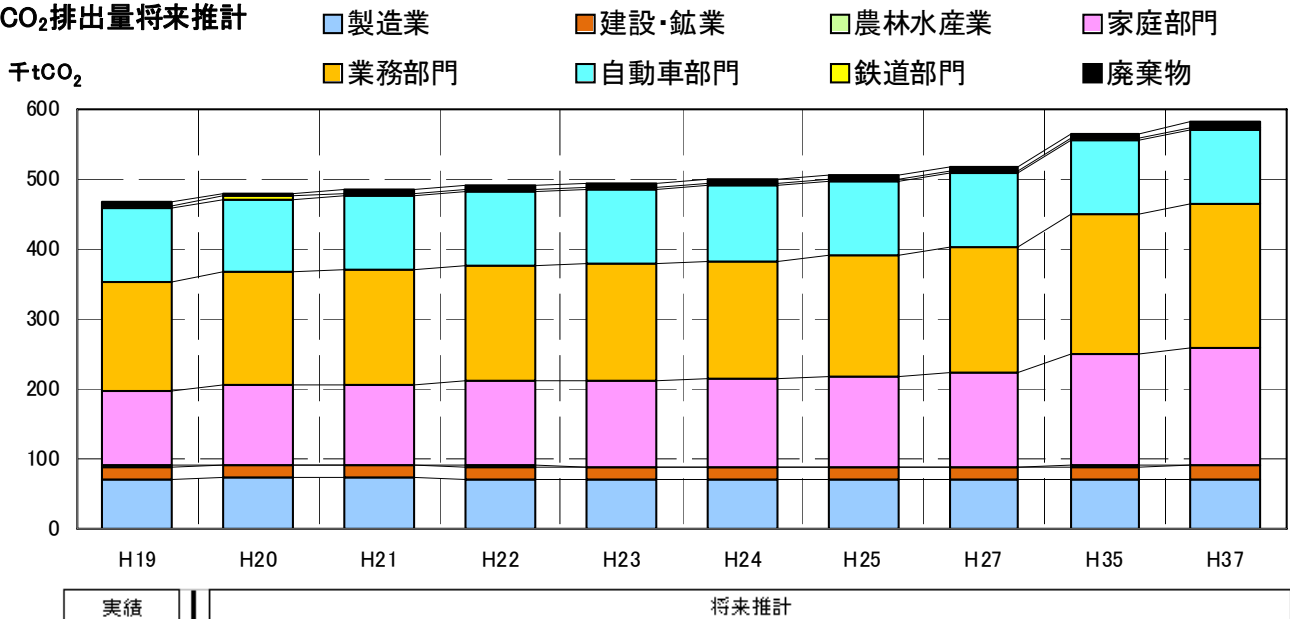


図 6-2-3 部門別：CO₂排出量将来推計